

3月7日中学校集会

おはようございます。本年度最後の中学校集会ですね。

9年生にとっては、中学校での最後の一週間になります。

今日は、自分を振り返ることについてお話をします。

以前、新聞の投書にあった会社員の筆者が仕事帰りの電車内でのお話です。その人の隣には、一人の青年が座っていたそうですが、次第に乗客が増えてきた次の駅で、四人連れのおばさんが乗ってきました。

山歩きをしてきたようで、疲れたように電車に乗り込んでくると、周りを見渡して「座るところがない。」と一人が言い出しました。

筆者は「何を言ってるんだろう。私たちは仕事で疲れているんだ。あなたたちは山を散策して遊んできたんだろう。そんなにしんどいのなら山歩きなどしなければいいのに…」と、思うほど嫌な言い方だったそうです。

そのおばさんは、やがて男性の横の青年の前で「あーあ、最近の若い人は年寄りに席を譲ろうともしない。」と嫌味と皮肉を言い出しました。

「こんな年寄りを前に立たせて、座ってられるんやね。」などと言い出したので、それ以上言ったら「だまれ。」と言ってやろうと思ったときに、隣の青年が席を立ち、歩き出したそうです。

けれど、その姿を見たおばさんたちや周りの乗客たちはみんなシーンとしてしまいました。なぜなら、その青年の右足は動かないのか義足なのかわかりませんでした。足が不自由なことだけは誰の目にも明らかだったそうです。

青年のぎこちない歩き方を見ながら、自分たちの横を歩く姿を見て、さすがにそのおばさんたちは悪いことを言ってしまったと気づいたようでその後一言も言葉が出なかったそうです。

皆さんに考えてほしいのは、この時のおばさんが一人なら同じことを言っていたでしょうか。

おそらく、周りに仲間がいたから調子に乗って人を傷つけすぎたのだということです。

皆さんの口から出る言葉は、場合によってはナイフよりも深く人を傷つけます。

皆さんにはそれぞれ口があります。おいしいものを食べるときは幸せな表情ですが、まずいものを食べるときの表情はどうでしょうか。

それと同じく、優しい言葉が出ているときはとっても良い表情になります。愚痴や人の悪口を言うときの表情は、自分でも決して見たくない表情だと思いませんか。

鏡がないからわからないだけですが、会話している友達だけでなく、それを見ている第三者はどんな気持ちで見ているのかを考えてください。

みんな、優しい心を持っている生徒たちですが、油断してしまったことはなかったですか。新しい学年を前にした今の時期に、これまでを振り返り、素敵に成長してほしいと思います。

以上